

地球温暖化問題に関する

市民アンケート調査へのご協力をお願い

日頃から、本市環境行政にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

近年、地球温暖化問題が喫緊の課題であると認識されるようになり、国内外で様々な対策が進められています。本市におきましても、地域における地球温暖化対策を推進するため、「摂津市地球温暖化対策地域計画」を策定することとしております。

このアンケート調査は、計画を策定するにあたり、市民の皆さまが地球温暖化問題に関してどのようなお考えをお持ちかお伺いするものです。

なお、この調査は、市内にお住まいの方から無作為に選んだ 2,000 人の方を対象にお送りしています。また、調査結果は計画策定のみで使用し、他の目的に使用することはありません。

つきましては、この趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和 2 年 8 月

摂 津 市

< 注 意 事 項 >

1. アンケート調査は、なるべく宛名のご本人様がお答えください。
2. 調査票・封筒ともお名前は記入していただくなくても結構です。
3. 同封の返信用封筒(切手は不要です)に封入の上、9月11日(金)までにご投函ください。

このアンケートに関するお問い合わせ先

摂津市役所 生活環境部環境政策課 電話:06-6383-1364

はじめに、環境に関する国際的なトピックスをご紹介します。

持続可能な開発目標 (SDGs)

2015年、国連サミットにおいて持続可能な開発目標 (SDGs) を含む「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。SDGsは「誰も取り残さない」という理念のもと、2030年を目標年度とした17の目標、169のターゲットを設定しています。目標達成のためには、発展途上国も含めた全ての国が、様々な関係者と協力して取組を進めることが求められており、自治体レベルでも取り組んでいく必要があるとされています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsのロゴ (出典：国際連合広報センター)

「パリ協定」の発効

2015年12月に、気候変動枠組条約の下で2020年以降の温暖化対策の国際枠組み「パリ協定」が採択され、2016年11月に発効しました。

「パリ協定」は、「世界全体の平均気温の上昇を産業革命以前に比べて 2°C より十分低く保つとともに、 1.5°C に抑える努力を追求する」を目標に掲げ、先進国・新興国・途上国を含むすべての国が地球温暖化対策に取り組むことを約束したものです。

日本政府も、パリ協定を受けて、2016年に新たな「地球温暖化対策計画」を策定し、「2030年度に2013年度比で26%削減する」といった中期目標を掲げています。

気候変動影響の「適応」に係る動向

近年、気候変動及びその影響が全国各地で現れており、今後、地球温暖化の進行に伴い、猛暑や豪雨のリスクは更に高まることが予測されています。

温室効果ガスの排出抑制等を行い、地球温暖化の進行を食い止める「緩和」だけでなく、温室効果ガスの増加による影響や中長期的に避けられない影響による被害を回避・軽減する「適応」を進めることが求められています。



気候変動政府間パネル (IPCC)

IPCC は、人為起源による気候変化、影響、適応及び緩和方策に関し、科学的、技術的、社会経済学的な見地から包括的な評価を行うことを目的として設立された政府間機構です。

IPCC では5～7年ごとに評価報告書を作成・公表しており、累次の報告書からは、気候変動問題に対する科学から繰り返し警鐘が鳴らされています。

直近の「1.5℃特別報告書」では、パリ協定の採択を踏まえ、地球温暖化を1.5℃未満に抑えるためには、2050年前後に世界のCO₂排出量を正味ゼロまで減らす必要があるとされています。

【上記トピックの詳細について】

上記トピックの詳細を知りたい方は、下記「参考 URL」の摂津市ホームページ内「地球温暖化問題に関するアンケート調査参考ページ」をご参照ください。

参考 URL : <https://www.city.settsu.osaka.jp/soshiki/seikatukannkyou/kannkyouseisakuka/ondanka/14012.html>

※右の二次元コードを読み取ることで、アクセスできます。



1. 地球温暖化問題及び地球温暖化対策への取り組みに関する質問

あてはまるもの1つに○印をつけてください。

問1 あなたは、地球温暖化問題に関心がありますか。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. ある程度関心がある | 4. まったく関心がない |

問2 あなたは、国の「地球温暖化対策計画」(2016年)の中で、2030年までに温室効果ガス排出量を26%削減するために、家庭では電気やガス、灯油などの使用量を約27%削減する必要があることを知っていますか。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問3 あなたは、「SDGs(エス・ディー・ジーズ/持続可能な開発目標)」(※)について知っていますか。

※「SDGs」の内容は、2ページの【持続可能な開発目標 SDGs】をご参照ください。

- | | |
|--------------|------------------------|
| 1. よく知っている | 3. 聞いたことはあるが、内容はよく知らない |
| 2. ある程度知っている | 4. 聞いたことがない |

問4 あなたは、「パリ協定」(※)について知っていますか。

※「パリ協定」の内容は、2ページの【「パリ協定」の発効】をご参照ください。

- | | |
|--------------|------------------------|
| 1. よく知っている | 3. 聞いたことはあるが、内容はよく知らない |
| 2. ある程度知っている | 4. 聞いたことがない |

問5 あなたは、気候変動の影響の被害を回避・軽減する取り組みである「適応策」(※)について知っていますか。※「適応策」の内容は、3ページの【気候変動影響の「適応」に係る動向】をご参照ください。

- | | |
|--------------|------------------------|
| 1. よく知っている | 3. 聞いたことはあるが、内容はよく知らない |
| 2. ある程度知っている | 4. 聞いたことがない |

問6 地球温暖化対策へ取り組むべき主体について、どのようにお考えですか。

1. 行政(国や自治体)が中心になって行うべきである
2. 事業者(工場・事務所や商業施設等)が中心になって行うべきである
3. 市民(各家庭)が中心になって行うべきである
4. 行政・事業者・市民等の区別なく、お互いが協力して取り組むべきである
5. その他()

問7 市が地球温暖化対策を進めるうえで、どのような取り組みを優先して行うべきだとお考えですか。

(複数回答可)

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1. 日常生活、業務活動での省エネの促進 | 7. 公共交通機関の充実 |
| 2. 省エネ型家電製品などの普及 | 8. 廃棄物の減量化 |
| 3. 太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及 | 9. 森林整備、緑化の推進 |
| 4. 住宅、建築物の省エネ性能の向上 | 10. 環境教育、環境学習の普及 |
| 5. エコドライブの普及 | 11. その他 |
| 6. 電気自動車や燃料電池自動車など次世代自動車の普及 | () |

2. ご家庭での取り組み状況

問8 あなたは地球温暖化対策に関して、日常生活でどのようなことを行っていますか。以下の①～⑪の設問ごとに、あてはまるもの1つに○印をつけてください。

	現在行っている		現在行っていない		わからない
	いつも行っている	時々行っている	行っていない	行いたいと思うが、 行うつもりはない	
①冷房時の室温は 28℃、暖房時の室温は 20℃を目安にするなど、温度設定を控えめにしている	1	2	3	4	5
②暖房や冷房の使用時間を減らしている	1	2	3	4	5
③テレビを見る時間を管理している (時間を決めて見る、時間を減らす等)	1	2	3	4	5
④冷蔵庫の管理を適切に行っている (無理な収納をしない、開閉の回数を減らすなど)	1	2	3	4	5
⑤使っていない電化製品のコンセントは抜いている	1	2	3	4	5
⑥電灯は省エネタイプの蛍光灯やLED電球等を使用している	1	2	3	4	5
⑦使用しない部屋の照明、冷暖房はつけないようにしている	1	2	3	4	5
⑧家電製品は、多少価格が高めでも省エネ効果の高い製品を選んでいる	1	2	3	4	5
⑨給湯器を利用する場合は、設定温度をなるべく低くしている	1	2	3	4	5
⑩マイカーの利用を控え、バス・電車・自転車を利用している	1	2	3	4	5
⑪車を運転する場合はアイドリングストップなどエコドライブをしている	1	2	3	4	5

市民アンケート調査票(案)

マイカーを所有している方のみ、お答えください。

①あなたはマイカーをどの程度利用されますか。

- | | |
|------------|--------------|
| 1. ほぼ毎日 | 5. 月2～3回程度 |
| 2. 週4～5回 | 6. 月1回程度 |
| 3. 週2～3回程度 | 7. 年に数回程度 |
| 4. 週1回程度 | 8. 全く利用していない |

8. 全く利用していないと答えた方は、問9にお進みください。

②マイカー利用の自粛について、どのようにお考えですか。

1. 環境や安全のことを考えて、できるだけ利用しないようにしている
2. あまり利用しないようにしている
3. 意識はしているが、なかなか利用を自粛できていない
4. 自粛していないし、今後自粛する気もない

③ガソリンや軽油の価格の高騰により、マイカーの利用に変化がありましたか。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 普段乗る回数とほとんど変わらない | 5. 全く乗らなくなった |
| 2. 普段よりやや(3割程度)減った | 6. 乗る回数が増えた |
| 3. 普段のおよそ半分になった | 7. 燃費の良い車やバイクに乗り換えた |
| 4. 普段の半分以下になった | |

問9 環境家計簿の取り組みについて、おたずねします。

①環境家計簿(※)について、知っていますか。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

1. 知っていると答えた方は、②にお進みください。

(※)「環境家計簿」とは

家庭での電気、ガス、水道、灯油、ガソリン等の使用量や支出額を集計して、二酸化炭素などの環境負荷を計算できるようにつくられた家計簿のこと。

②上記設問①で「1. 知っている」を選択した方にお聞きします。環境家計簿について、取り組んだことがありますか。

1. 取り組んでいる
2. 取り組んだことはない
3. 以前取り組んでいたが、やめた
4. 今は取り組んでいないが、今後取り組みたい

③上記設問②で「2. 取り組んだことはない」「3. 以前取り組んでいたが、やめた」を選択した方にお聞きします。取り組んでいない理由は何ですか。(複数回答可)

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 難しい | 3. 効果がわからない |
| 2. 面倒くさい | 4. その他() |

市民アンケート調査票(案)

問10 あなたは、次のようなエネルギーに関連する機器類をご存じですか。また、あなたのご家庭では、次のようなエネルギーに関連する機器類を導入していますか。次の項目ごとに、最も近いものを「認知度」、「導入状況」それぞれ1つずつ選んで番号に○印をつけてください。

項目	「認知度」の欄の番号1つに○ 「導入状況」の欄の番号1つに○	認知度			導入状況				
		内容まで知っている	名前は知っている	知らない	すでに導入している	導入したい	補助金がなくても導入したい	導入したい	補助金があれば導入するつもりはない
①太陽光発電システム	太陽からの光エネルギーをソーラーパネルを用いて変換し、発電する方法です。	1	2	3	1	2	3	4	
②太陽熱利用システム	太陽熱をソーラーパネルで集め、そこに水を通して温水にします。温水を給湯に使うのが太陽熱温水器、温水を給湯だけでなく空調等にも使うものがソーラーシステムです。	1	2	3	1	2	3	4	
③次世代自動車	排気ガスを全く排出しない、または排出しても量が少ない車を次世代自動車といいます。(例:ハイブリッド自動車、電気自動車、天然ガス自動車、燃料電池自動車など)	1	2	3	1	2	3	4	
④高効率給湯機	従来の機器に比べて少ないエネルギーでお湯を沸かすことのできる給湯器です。ヒートポンプ型(エコキュートなど)や、潜熱回収型(エコジョーズなど)があります。	1	2	3	1	2	3	4	
⑤家庭用蓄電池	太陽光発電などで発電した電力を蓄えておく蓄電池です。蓄えた電力は太陽光発電で発電できない夜間や災害時の非常用電源として使うことも可能です。	1	2	3	1	2	3	4	
⑥家庭用燃料電池	ガスから取り出した水素をもとに燃料電池で発電し、そのとき出る熱でお湯も沸かせて給湯や暖房もできるコージェネレーション(熱電併給)システムです。	1	2	3	1	2	3	4	
⑦HEMS(エネルギーマネジメントシステム)	電力使用量や、太陽光発電の発電状況や蓄電池への蓄電状況などをもとに、家庭での適切なエネルギーの需給状況を生活にあわせて調節・制御してくれるシステムです。	1	2	3	1	2	3	4	

市民アンケート調査票(案)

項目	「認知度」の欄の番号1つに○ 「導入状況」の欄の番号1つに○	認知度			導入状況			
		内容まで知っている	名前は知っている	知らない	すでに導入している	導入したい 補助金がなくても	導入したい 補助金があれば	導入するつもりはない 導入できない 又は
⑧省エネ建築 (高断熱、二重サッシなど)	室内温度は家の外の気温の影響を受けるため、壁や屋根、窓を断熱化することで、省エネにつながります。代表的なものに、複層ガラスがあります。	1	2	3	1	2	3	4

問11 あなたのご家庭での地球温暖化対策への取り組みについて、どのようにお考えですか。

1. 日常生活が多少不便でも、積極的に取り組みたい
2. 日常生活が不便にならない範囲で積極的に取り組みたい
3. 何かメリットがあれば取り組んでみてもいい
4. ライフスタイルはできるだけ変えたくないので取り組みたくない
5. 自分には関係ないから取り組む気は全くない
6. その他()

問12 地球温暖化をはじめとする環境問題について、あなたはどこから情報を入手していますか。

情報を得ている媒体を次の中から選んでください。(複数回答可)

1. 新聞
2. テレビ
3. ラジオ
4. 市のホームページ
5. インターネット(市のホームページ以外)
6. SNS(ツイッター、フェイスブック等)
7. 本・雑誌やその他刊行物
8. 行政(各省庁や自治体)や環境関係団体等が発行するパンフレット等
9. その他()

問13 新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、どのような変化がありますか。次の中から選んでください。(複数回答可)

1. 家庭での照明や空調の使用する時間が増え、光熱費が増加している
2. 公共交通機関の利用を避け、マイカーの利用が増えている
3. 地域をまたぐ移動を避け、自転車の利用が増えている
4. 在宅勤務・テレワーク・遠隔授業等を実施している
5. ライフスタイルの変化はない
6. その他()

4. 地球温暖化による影響について

問14 近年、猛暑日や大雨の頻度の増加など、気象及び気候の極端な現象の発生頻度が高まっていますが、このような地球温暖化の影響が私たちの生活に及ぼす影響として、あなたが不安に感じるものは何ですか。あてはまるものをすべてに○印をつけてください。(複数回答可)

1. 農作物の収穫量や品質の低下
2. 渇水やダム湖等の水質悪化
3. 動植物の生息地の変化や絶滅など
4. 豪雨による洪水、土砂災害等の増加
5. 熱中症の増加、感染症の増加(感染症を媒介する蚊の生息域の拡大等による)
6. 気温の上昇、雨の降り方の変化や海面上昇等によるレジャー・観光への影響
7. 集中豪雨等による水道・公共交通等のインフラへの影響の増加
8. 不安に感じることはない

問15 気候変動に伴う避けられない影響をできる限り最小化するための対策を「適応策」と言います。気候変動への「適応策」として、本市ではどのような分野を重点的に進めて行くべきであるとあなたは考えますか。該当するものを3つまで○印をつけてください。

選択肢	適応策例
1. 農林水産業	高温に対応した品目(品種)の選定・開発、自然災害等に備えた農業セーフティネットの構築、海洋環境のモニタリング調査など
2. 水環境・水資源	節水型ライフスタイルの普及啓発、公共用水域の継続的な水質測定調査など
3. 自然生態系	気候変動による生物種の変化を把握するためのモニタリング調査、里山管理及び周辺林の保全育成推進など
4. 自然災害・沿岸域	河川整備の推進、雨水流出抑制施設の整備、土砂災害危険予想箇所の情報提供など
5. 健康	猛暑日予測時の積極的アナウンス、高齢者等への熱中症見守り啓発体制の充実、感染症の発生状況や予防法の周知啓発など
6. 産業・経済活動	市内事業者が有する環境技術の気候変動適応策に活かす取組を支援、災害時における外国人への支援策の推進など
7. 生活	都市部の気温が郊外に比べ高くなるヒートアイランド現象を緩和するための都市部の緑化推進、災害による被害を受けにくいインフラ整備など
8. わからない	

5. 市民の環境への活動について

問16 よりよい環境をつくるための市民の活動への参加について。

以下の①～⑦の設問ごとに、あてはまる主なものを1つに○印をつけてください。

	参加している	今後、参加したい	あまり関心はない
①スーパー等で行っているリサイクル活動	1	2	3
②地域における清掃活動や廃品回収活動	1	2	3
③家庭における環境家計簿等の取り組み	1	2	3
④地域における緑化活動や景観保全活動	1	2	3
⑤環境活動を行っている団体でのボランティア活動	1	2	3
⑥環境に関する講演会やシンポジウム	1	2	3
⑦自然観察会や調査等を通じた環境保全活動	1	2	3

問17 地球温暖化対策を進めにくくしているのは、以下のうちのどの考えだと思いますか。

あてはまる主なものを3つ以内に○印をつけてください。

1. 地球温暖化への危機感がない(自分には関係ない)から
2. 小規模な活動では効果がないから
3. 関連する地域活動に参加したいが、地域での取り組みが行われていないから
4. 関連する地域活動に参加したいが、参加の方法がわからないから
5. 新エネルギー導入や省エネルギー機器購入のための経費がかかるから
6. 詳しい情報が手に入りやすく、どう取り組めばいいのかわからないから
7. 一緒に取り組む仲間や機会がないから
8. 環境にやさしい行動をとること自体に不便を感じるから
9. その他()

6. あなたのご家庭に関する質問

問18 以下の設問ごとに、あてはまるもの 1つに○印をつけてください。

①あなたのお住まいの地域はどこですか。 ()内の小学校区を参考にしてお答えください。	1. 第一中学校区(摂津・味舌小学校) 2. 第二中学校区(鳥飼西・鳥飼北小学校) 3. 第三中学校区(千里丘・三宅柳田小学校) 4. 第四中学校区(別府・味生小学校) 5. 第五中学校区(鳥飼・鳥飼東小学校)
②あなたの年齢はいくつですか。	1. 10歳代 4. 40歳代 7. 70歳以上 2. 20歳代 5. 50歳代 3. 30歳代 6. 60歳代
③あなたの職業は何ですか。 (複数の職業に就かれている場合は、 主なものに <u>1つ</u> に○)	1. 会社員・公務員 5. 学生 2. 自営業 6. 無職 3. パート・アルバイト 7. その他 4. 専業主婦・専業主夫 ()
④今のお住まいにいつ頃から住んでいますか。	1. 1年未満 4. 10～20年未満 2. 1～5年未満 5. 20～30年未満 3. 5～10年未満 6. 30年以上
⑤お住まいは次のうちどれにあたりますか。	1. 持ち家の一戸建て 4. 賃貸の集合住宅 2. 持ち家の集合住宅 5. 公的な賃貸住宅 3. 賃貸の一戸建て 6. 間借り・下宿・その他
⑥自動車 <small>の所有台数(家族の分を含む)</small> は何台ですか。	1. 1台 4. 4台以上 2. 2台 5. 自動車を所有していない 3. 3台
⑦自転車 <small>の所有台数(家族の分を含む)</small> は何台ですか。	1. 1台 5. 5台 2. 2台 6. 6台以上 3. 3台 7. 自転車を所有していない 4. 4台

問19 その他摂津市の地球温暖化対策に関してご意見等がございましたらご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

返信用封筒にアンケートを3つ折りにして入れ、9月11日(金)までにご投函ください。